



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ 2009 推進ニュース

—介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！—

取り組みを具体化し12月末までに500,000筆の署名を集め介護改善要求を国会に届けよう！

11・9国会行動で署名89,169筆を国会に届ける！

厚生労働委員会(衆参両院)の全議員に要請を行う(全日本民医連)

11月9日(月)に、介護ウェーブ 2009「介護保険の改善・介護保障の充実を求める 11・9 国会行動」が、10県連から関係者を含めて 27名の参加で開催されました。予定していた厚労省交渉は 11月19日(木)に延期となりましたが、議員要請行動と決起集会の 2つの企画が行われました。決起集会では、小池晃参議院議員が挨拶に訪れ、新政権の元での新たな情勢についての報告と、利用者の困難な実態を知らせる運動を積み重ねていく重要性等が示され、「共に頑張っていこう」と民医連への期待が述べられました。最後に、林事務局次長(全日本民医連)より、「介護の日」の行動を節目に、地域で共同の輪を広げ、署名目標 50万筆達成に向けた取り組みの強化と、「介護保険 10年」の検証運動を各地で具体化し、改善要求をまとめ提案していく取り組み等、今後のたたかいの行動提起があり、「改めて、介護ウェーブのうねりを大きく起こし、介護保険の抜本改善に向けて、大きな運動を起こしていこう」と呼びかけられました。



参加者から「今回の経験を契機に、現場で活動に力を入れていきたいです！」と感想



議員要請行動は、衆議院 44名、参議院 25名を、7グループに分かれて行い、決起集会で、初めて国会行動に参加した職員 5名から報告と感想が出されました。

「初めての参加で、不安でしたが、アピールもしっかりとでき、署名も受け取ってくれるなど、楽しい行動になりました。また、参加したいと思います(井上純一さん・山梨勤医協)」、「民主党は、陳情は党として一括で受けとると断られた所もありましたが、署名は 3カ所で受け取ってくれました(小森仁さん・川崎医療生協)」、「議員はほとんど不在で秘書の対応でしたが、5カ所で署名を受け取ってくれました。高橋千鶴子議員(共産党)は、部屋の中に通してくれて、お茶も出してくれました。高橋議員は、介護処遇改善交付金は、中身が不十分であるとおっしゃっていて、民医連からたくさんの意見を上げてもらい、一緒に頑張っていこうと言つてくれました。今回の経験を契機に、現場で活動に力を入れていきたいです(森内健太さん・医療生協かわち野・大阪)」、「署名は 3カ所で受け取ってもらえませんでしたが、樋口俊一議員(民主党)は部屋の中に通してくれて、話をじっくり聞いてくれました。介護の問題については、ほとんどの議員が関心をもっていると感じました。このような行動を継続していくことの重要性を感じました。今日の経験を持ち帰って運動につなげていきたいです(渡辺宏さん・社会福祉法人ちどり福祉会・福岡)」、「初めての参加で、舛添前厚労大臣の部屋があつたり、驚きと感動の行動でした。12人の議員を訪問して、3カ所で署名を受け取ってくれて、1カ所で紹介議員になってもらいました。介護現場の実態の話をすると親身になって聞いてくれる所もありました。今後も継続した運動が必要で、次の行動では、自分の言葉で実態や思いを伝えていきたいです(内田一考さん・社会福祉法人協立福祉会・長野)」等、感想と今後の決意が述べられました。

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで
TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp